

THE SAUL BELLOW SOCIETY OF JAPAN  
NEWSLETTER

APRIL 2015

SBSJ

Vol.27

発行：会長 町田哲司  
日本ソール・ベロー協会本部  
573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学 町田研究室内  
TEL 072-805-2801  
E-mail machida@kansai.ac.jp  
ホームページ URL <http://www.onyx.dti.ne.jp/~bellow/>

**【第 27 回日本ソール・ベロー協会大会のお知らせ】**

日時：10月9日(金)午後2:00～5:30 (1:30 受付開始)  
場所：高槻市立生涯学習センター3階・第2会議室  
〒569-0067 大阪府高槻市桃園町 2-1(高槻市総合センター内)  
TEL 072-674-7700(代)  
(JR 高槻駅、阪急高槻市駅より、いずれも徒歩5分程度)

《プログラム》

①開会の辞

②総会

③ベロー、エリソン共同シンポジウム

テーマ「ベローとエリソン——50年代思潮の中で」(仮)

司会・講師：町田哲司 (関西外国語大学)

講師：荒このみ氏 (東京外国語大学名誉教授)

講師：松本昇氏 (国土館大学)

講師：岩橋浩幸 (近畿大学・非)

講師：伊達雅彦 (尚美学園大学)

\*懇親会 (5:45～7:15) (会費：5000円)

\*理事会を12:30より開きます。

---

**【2014年度会員ベロー関係活動報告】** (2014年4月1日～2015年3月31日)

《論文》

○相原優子 (武蔵野美術大学) 「ビリー・ローズ「記憶」を問う： *The Bellarosa Connection* 再読」 *Soundings* 40 (巽豊彦教授 追悼号、サウンディングズ英語英米文学会、2014年) : 125-145.

### 《論文・補遺》

- 大工原ちなみ（富山大学）「Saul Bellow の短編を読む：“The Old System”」『富山大学人文学部紀要』58（2013年）：153-163.
- 鈴木佳那（日本女子大学・院）「意識における他者の描出：Saul Bellow の *Humboldt's Gift* における Charlie の思考の意味」『日本女子大学大学院文学研究科紀要』18（2012年3月15日）：10-1.
- 竹腰佳誉子（富山大学）「記憶と真正さの狭間で——*The Actual* 論」『富山大学人間発達科学部紀要』4-2（2010年）：183-189.

### 《発表》

- 岡崎裕（日本福祉大学）「攪乱する象徴——Saul Bellow の“Looking for Mr. Green”を読む」（日本英文学会中部支部第66回大会、中央大学名古屋キャンパス、2014年10月18日）.

### 《翻訳》

- 鈴木元子（静岡文化芸術大学）「ソール・ベロー作『ラヴェルスタイン』—1章1節—」『静岡文化芸術大学研究紀要』15（2015年3月31日）：97-104.

### 《書評》

- 伊達雅彦（尚美学園大学）「鈴木元子著『ソール・ベローと「階級」——ユダヤ系主人公の階級上昇と意識の揺らぎ』（彩流社、2014年2月）. *Shlemiel* 14（日本ユダヤ系作家研究会、2015年3月31日）：75-77.

---

### 《非会員ベロー関係活動報告》

#### 《書評》

- 本田安都子（福井大学）「鈴木元子著『ソール・ベローと「階級」——ユダヤ系主人公の階級上昇と意識の揺らぎ』（彩流社、2014年2月）. 『中部アメリカ文学』18（日本アメリカ文学会中部支部、2015年3月）：22-24.

### 《非会員ベロー関係活動報告・補遺》

#### 《論文》

- Taras A. Sak（安田女子大学）“Education in Saul Bellow’s “The Old System”.” 『安田女子大学大学院文学研究科紀要』合冊19（2013年）：77-92.
- 伏谷幸子（中央大学）「ソール・ベローとホロコースト」『人文研紀要』69（中央大学人文科学研究所、2010年）：211-220.

#### 《発表》

- 齋藤博次（岩手大学）「ソール・ベローの歴史意識：『オーギー・マーチの冒険』を中心にして」（日本アメリカ文学会東北支部9月例会、東北大学片平さくらホール、2013年9月21日）.

---

《海外ベロー関係文献》

○Bellow, Saul. *Bellow: Novels 1984-2000*. New York: The Library of America, 2014.

Contents

What Kind of Day Did You Have?	1
More Die of Heartbreak	97
A Theft	417
The Bellarosa Connection	491
The Actual	563
Ravelstein	629
Chronology	817
Note on the Texts	830
Notes	832

○Greif, Mark. “Saul Bellow and Ralph Ellison: Man and History, the Questions.” *The Age of the Crisis of Man: Thought and Fiction in America, 1933-1973*. Mark Greif. Princeton: Princeton UP, 2015. 145-80.

○Greif, Mark. “Saul Bellow and Ralph Ellison: Man and History, the Answers.” *The Age of the Crisis of Man: Thought and Fiction in America, 1933-1973*. Mark Greif. Princeton: Princeton UP, 2015. 181-203.

○Taylor, Benjamin, Ed. *Saul Bellow: There Is Simply Too Much to Think About: Collected Nonfiction*. New York: Viking, 2015.

Contents

Prologue: Starting Out in Chicago	1
The Fifties and Before	
Spanish Letter	11
Illinois Journey	27
The University as Villain	37
The Sharp Edge of Life	43
Laughter in the Ghetto: On Sholom Aleichem	47
Dreiser and the Triumph of Art	50
Hemingway and the Image of Man	54
Man Underground: On Ralph Ellison	60
The 1,001 Afternoons of Ben Hecht	65

The Swamp of Prosperity: On Philip Roth	68
The Writer and the Audience	73
Distractions of a Fiction Writer	76
Deep Readers of the World, Beware!	92
A Talk with the Yellow Kid	96
The Sixties	
The Sealed Treasure	105
On Jewish Storytelling	112
Up from the Pushcart: On Abraham Cahan	118
Where Do We Go from Here? The Future of Fiction	121
At the Movies	131
On Shakespeare's Sonnets	150
The Writer as Moralist	155
Beatrice Webb's America	166
Recent Fiction: A Tour of Inspection	169
Barefoot Boy: On Yevgeny Yevtushenko	197
My Man Bummidge	200
The Thinking Man's Waste Land	203
Cloister Culture	205
Israel: The Six-Day War	212
Skepticism and the Depth of Life	224
The Seventies	
On America: Remarks at the U.S. Cultural Center in Tel Aviv	243
New York: World-Famous Impossibility	249
Machines and Storybooks: Literature in the Age of Technology	253
A World Too Much with Us	269
An Interview with Myself	280
The Nobel Lecture	291
Americans Who Are Also Jews: Upon Receiving the Democratic Legacy Award of the Anti-Defamation League	301
The Day They Signed the Treaty	305
The Eighties	
In the Days of Mr. Roosevelt	317
Reflections on Alexis de Tocqueville: A Seminar at the University of Chicago	330
My Paris	338

Foreword to <i>The Revolt of the Masses</i> by José Ortega y Gasset	347
The Civilized Barbarian Reader	351
A Jewish Writer in America: A Lecture	356
Chicago: The City That Was, the City That Is	374
The Nineties and After	
There Is Simply Too Much to Think About	383
Writers, Intellectuals, Politics: Mainly Reminiscence	391
Papuans and Zulus	408
Alone in Mixed Company	411
Ralph Ellison in Tivoli	416
Literature: The Next Chapter	422
With Irony Fun Games	427
Vermont: The Good Place	435
Winter in Tuscany	441
Before I Go Away: A Words and Images Interview with Norman Manea	450
“I Got a Scheme!”: With Philip Roth	467
Coda: Why Not?	495
Acknowledgements and Editor’s Note	513
Index	517

《海外ペロー関係文献・補遺》

○Kernan, Alvin B. “Mighty Poets in Their Misery Dead: The Death of the Poet in Saul Bellow’s *Humboldt’s Gift*.” *The Imaginary Library: An Essay on Literature and Society*. Alvin B. Kernan. Princeton: Princeton UP, 1982. 37-65.

【協会活動報告】

2014年4月1日：『ニューズレター』第26号発行  
「大会案内」「理事会案内」発送

2014年6月20日：理事会  
第26回大会（於：関西外国語大学・中宮キャンパス）  
《プログラム》  
14:45～15:00 総会  
15:00～16:00 Talking Session

ゲスト：Gregory Bellow 氏  
(The Sanville Institute for Clinical Social Work and Psychotherapy)  
関西外国語大学国際文化研究所例会 (於関西外国語大学・中宮キャンパス)  
16:40～18:10

講演者：Gregory Bellow 氏  
司会：Brett Collins 氏 (関西外国語大学)  
紹介：町田哲司 (関西外国語大学)  
懇親会 (於アマーク ド パラディ ICC)

---

### 【東京支部活動報告】

2014年7月13日 (於青山学院大学・青山キャンパス)  
発表「ジョナサン・サフラン・フォアの『エブリシング・イズ・イルミネイテッド』について」

2015年3月8日 (於青山学院大学・青山キャンパス)  
発表「Nicole Krauss の *The History of Love* を読む」 / 「ジェラルド・グリーン の『最後の怒れる男』——人生の修復と結婚の修復」

参加者：大場昌子 (日本女子大学)、坂野明子 (専修大学)、佐川和茂 (青山学院大学)、伊達雅彦 (尚美学園大学)

---

### 【2014年度会計報告】 (2014年4月1日～2015年3月31日)

収入の部	円	支出の部	円
前年度繰越金	218,656	通信関係費	4,828
会費	35,010	大会・懇親会・理事会関係費	193,629
懇親会費	40,000	ホームページ関係費	23,365
		アルバイト代	2,000
		次年度繰越金	69,844
合計	293,666	合計	293,666

2015年4月1日 会長 町田哲司 印

以上の報告に相違ありません。

会計監査 横山哲彌 印

---

### 【お問い合わせ先のご案内、および名簿記載事項の追加・削除等について】

現在のところ、ベロー協会では、事務局機能を本部の方に移し、一元管理ができるようにしております。

「お問い合わせ」および「名簿記載事項」の変更（特定項目の削除依頼含む）につきましては、machida@kansai.ac.jp までメールで、もしくは 573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学・町田研究室まで文書で、お願いいたします。

「名簿記載事項」の変更につきましては、「会費振込用紙」の「通信欄」をご利用いただいても構いません。通常、振込用紙では、お名前と入金額、入金日のみ確認いたしておりますので、何らかの変更のある方は、かならずその旨、通信欄にご記入くださいますようお願い申し上げます。

「ニューズレター」、「名簿」、「振込用紙」以外の発送物につきましては、経費削減のため、できるだけメールにて送らせていただいております。迅速な意見の交換にも役立ちますので、ぜひアドレスをお教えてください。名簿には、許可をいただいた方のみ掲載いたしております。

---

### 【役員】（2015年4月1日～2017年3月31日）

理事：伊達 雅彦（北海道、東北地区／尚美学園大学）

坂野 明子（関東地区／専修大学）

大場 昌子（関東地区／日本女子大学）

佐川 和茂（関東地区／青山学院大学）

大工原 ちなみ（中部地区／富山大学）

鈴木元子（中部地区／静岡文化芸術大学）

片渕 悦久（関西地区／大阪大学）

町田 哲司（関西地区／関西外国語大学）

渡辺 克昭（関西地区／大阪大学）

橋本 賢二（関西地区／大阪教育大学）

池田 肇子（中・四国、九州地区／福岡女学院大学・非）

会長：町田 哲司

名誉顧問：モリス・オーガスティン（AUGUSTINE, Morris J.）

半田 拓也（福岡大学名誉教授）

会計監査：横山 哲彌

本部：関西外国語大学町田研究室内

---

### 【原稿募集】

本部では、ニューズレターに掲載する原稿を募集しております。ベロー研究に関係のあることでしたら何でも結構ですので、本部までお送りください。できれば、添付ファイルにてお願いいたします。

---

---

### 【会費納入のお願い】

2015 年度会費納入用の郵便振替用紙（日本ソール・ベロー協会：00940-5-109785）を同封いたしております(すでに今年度分を納入済みの方には同封していません)。一般会員は **2000** 円、学生会員は **1500** 円となります。年会費未納者は、次年度より会員資格を失いますので、ご注意ください。

---

### 【日本ソール・ベロー協会会則】(2013 年 4 月 1 日改正)

第 1 条 (名称) 本会は日本ソール・ベロー協会と称する。

第 2 条 (目的) 本会はソール・ベロー及び関連諸分野の研究と、会員相互の交流をはかることを目的とする。

第 3 条 (事業) 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1.総会の開催 2.調査・研究のための諸活動 3.調査・研究成果の刊行 4.会報(ニューズ・レター)の発行 5.研究発表会・講演会等の開催 6.その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

第 4 条 (会員) 会員はソール・ベローの研究に関心を持ち、所定の年会費を納めたものとする。

第 5 条 (会費) 本会の年会費は 2000 円、ただし学生会員の場合は 1500 円とする。年会費未納者は、次年度より会員資格を失う。

第 6 条 (役員等) 本会に次の役員等を置き、会員の中から選出する。

1.会長、代表理事各 1 名。理事会が理事の中より候補者を推薦し、総会で承認を得る。

2.理事。各地区毎に若干名。構成員数に応じて増減。総会で選出する。

3.会計監査 1 名。総会で選出する。

4.その他、本会に必要と思われる諸役については、適宜会員の中から総会の決議に基づいて会長がこれを委嘱する。

第 7 条 (役員の任期) 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 8 条 (事務局) 事務局機能は本部が担当する。

第 9 条 (経費) 本会の運営は会員の会費、寄付金、その他の収入をもって当てる。

第 10 条 (事業年度) 本会の事業年度及び会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終了する。

第 11 条 (会則の変更等) 本会の会則の変更、会費その他の重要な事項の決定は総会の議決による。

申し合わせ事項

(1)総会及び研究発表会は年一回開催する。

(2)本会の本部は、関西外国語大学 町田哲司研究室内に置く。